

歌人のふんどし2018



他人が無邪気につけたタイトルで連作を詠む。
それが「歌人のふんどし」です。
167名によるふんどし大交換会をお楽しみください。

逢

終点の先。ちいさな惑星。

（お題提供…郡司和斗）

「もう世界おわるね」「そっか」「終点^{しゅうてん}の先をあなたに伝えて逝くね」
朽ち果てた道路 何処でも行けるけど何処にも行けないようなしあわせ
海はあか空はしゅいろな地球では涙もきつと透き通らない
シエルターは満員 冴えない僕たちは弾かれてしまうしかない未来
待っててね きらきら爆ぜる隕石^{あんくし}がだれかに落ちるまでを見送る
せんめつせん、るびを振るなら殲滅戦^{せんめつせん} 来世はちがう星で会おうね

ひとこと 楽しかったです。「しゅうてん」の先にメッセージを隠しました。

秋鹿町

四畳半ジャック

（お題提供…村上航）

命を受け四畳半の間住処とす我は名も無き一兵卒なり
父知らぬ我の主人は四歳に母は場末で身を売る女
甲高き鐘の音響く狭き部屋 我が城守れ！敵襲来たり
銃剣を構へて主人の前に立つブリキの体がぎりりとなる
玩具では為す術は無し 押入れ知らぬ男が主人をさらう
残されし我は畳の目を数えかくも短かき四畳半ジャック

ひとこと 四畳半に広がる宇宙、広がる妄想、楽しかったです。

あおきぼたん

ヨンドイッチ音頭

（お題提供…御糸さち）

三角も四角もサンドイッチならヨンドイッチは僕らが決める
何もかもぺちゃんこなんだ欲張りなやつが作ったサンドイッチは
パンキユウリハムパンタマゴパントマトパンパンレタスハムチーズパン
ひらひらと月から飛来したハムが僕のひらいたパンにはさまる
ピクルスが入っていても心臓が飛び上がらない大人になるよ
見えるかいサンドイッチの向こう側近頃みんな野菜多めで

ひとこと お題を知ったときは涙目でしたが、だんだん楽しくなってきました

秋山生糸

オペラグラス越しの愛

（お題提供…七波）

数分に一度ぐらつく君の背とともに『ガイアの夜明け』を見てる
金麦のなかにエビスの缶がありおめでどうあなたのうれしかった日
熱量はこちら側にある（見て）君の部屋に火がついたりしないかな
上半身裸のひとが窓際に立てばわたしは星に擬態す
二時二十二分あなたがカーテンを閉めて本当のくらやみがくる
タオルタオルソックス下着ジャージ（下）君とおなじ順番で干す

ひとこと 想像広がる楽しいお題をありがとうございました！

あひるだんざー

桃・犬・猿・鳥

（お題提供…小澤ほのか）

桃の木は無事であろうか泥水の引きたる後の果樹園の空
人もまた先祖は猿であったので猿の親子のように眠れり
瓦までみな流されて静まりし家より響く愛犬の声
鳥だけは何も変わらず生きている瓦礫の街を瞳に映し
街は生きる人と同じく生きている身罷れし街と人へ祈りを
声がする体育館より声がする父が娘へ読む桃太郎

ひとこと いい企画でした…。また年末も参加しますね！

阿部圭吾

サイリウムが消えるまで

（お題提供…アベハルカ）

てじょう、って光る輪っかを付けあって僕らは夏に閉じ込められる
水平線がどこにあるのか分からないふたりで歩く夜の海岸
溶けそうに岸に打ち上げられているくらげを海に帰してあげる
永遠の証みたい撮りためた花火を君と消しあう遊び
ほんとうに信じていたいのたちを数えて明けない夜を明かした
サイリウムが消えたら夏が動き出すそれまで永遠の夏の海

ひとこと サイリウム久々に買いました。ありがとうございました！

アベハルカ

瞬きをするあいだに

（お題提供…伏屋なお）

ゆつくりと時間が戻る はじまりの電話の声も震えてたっけ
どこまでもふたりぼっちな真夜中の浜辺でぬるいコーラを飲んだ
助手席の助手がぼんこつ何回も目的地消去しちゃってごめん
イヤフォンをはんぶんこして聞いた曲好きだったのに聞けなくなるね
透明な余韻を残して消える夢みたいに忘れられますように
ゆつくりと瞼を開ける泣きそうな君と目が合うここが終点

ひとこと 初めてのふんどし参加！良いふんどしで相撲できました。

尼崎武

或るわたしへのエアリプ

（お題提供…鈴木えて）

つながりの見える世界でつながりの切れるところがよく見えている
最初からそんなつもりで見てみると心ばかりの心あたりが
そうですか 俺のことだったんですか あのときのことだったんですか
なんだそれくらいいつて思う それくらいのことで切られる俺がだ
俺は俺のいいかげんさを覆うほどまぶしい光になれなかったな
（こちらこそ）いねむり おなら 深呼吸（みんなエアリプなんだ） まばたき

ひとこと エアリプには気づかない派です

天野うずめ

スペースデブリの涙

（お題提供…龍翔）

美しきホモ・サピエンスの世界から切り離されるスペースデブリ
文明になればなるほど増えていく進化論から取り残されて
死ぬときは光っていたいことごとく身体の色素が失われても
重力から解放されることはもう死だよ。孤独に向かう死なんだ。
スペースデブリいくつもいくつも合わさって導かれゆく幸福があれ
輪廻へと再び戻る日は来るか白昼夢で見るバイコスールよ

ひとこと 龍先生、楽しい連作タイトルをありがとうございました。

雨虎俊寛

お滅び山のうた

（お題提供…しま・しましま）

検索でボルダリングを元カノが始めたのを知る 華奢なあのこが……
#ボルダリング女子 #ボルダリングエンジョイ勢 #ヴォルケーノジム ここにいるんだ
見ぐるしいからまわりだと知りながら突き返された小指の指環
いとしいしとヘゴクリゴクリと喉ならしつい口を吐くフォアレターワード
一晚でそっちに行くよ 色ちがいクライムシューズ最安ボチる
「愛してる」伝えるような触れかたを夢の中ならキミはするのに

ひとこと まああいい ぶうれえしゃあああすう（フォロー減る連作や）

有村桔梗

ここに書いてあることは全部嘘です

（お題提供…中條茜）

しあはせにくらしましたといふときの明朝体のくろぐろとして
いつのまに消えたのだらう好きだった本もおもちやもあなたのこゑも
振り向けばだれもゐなくて みんなみんなわたし以外のところへ帰る
嘘つきは恋のはじまり だんだんと矛盾に満ちてゆく言葉たち
できるなら真実よりもわたくしはきれいな嘘が欲しいのですが
夏の雨 あなたが忘れてしまひたる言葉にひとり囚はれてゐる

ひとこと 楽しいタイトルをありがとうございました！！



アルミニウム

それでもメロンをゆるせない

（お題提供…はね）

メロンから生まれたメロン・ジョンがきて並居る悪を倒して行つた
このメロンに刺さつた剣を抜くものがすべて王のなかの王である
もうじきにメロンの馬車でやつてくるひとと朝まで踊り明かそう
メロンあれメロン初めて開けしときメロンの子らの殯の宮は
メロンのカドに頭ぶつけて死んじまえメロンとふたりで腐つてしまえ
好きだつて許せねんだよなんかもメロンさぐれば冷えた内蔵

ひとこと
メロン普通に好きで、困りました。

生田亜々子

恋人が画面から出てこない件について

（お題提供…高木一由）

終わりのない日々の終わりの果てまでも行くよ小さな端末持つて
そんなことあるわけなくてひさかたのひかりのなかであなたを探す
たそがれに目を見開いて モニターの左の隅にはみ出した髪
に じげんのこ いびと だつて すべての数を1と2だけでカウントしつつ
電車通りの向こうからあなたが来るような気なんかがする光がまぶしい
出てこないのならば行くよ Deep 音 響いては美し午後二時の部屋

ひとこと
とてもそられるお題で、妄想を楽しみつつ取り組みました。

石井大成

り

（お題提供…まつ）

そりや栗鼠もいるさは森なのだカフェでメールを打てばざわめく
了解の「り」なのかこれをみなすまで宙ぶらりんの約束である
あの夏の僕らの汗だりーりーりーりーりーりーりーりーりー…ダッシュ
笑ったり泣いたりさらにはポテト食べたりのすべてがふたり（うるさい）
この字ならひと筆書きにするだろう君だ 大丈夫、未来なら来る
ReAction たとえば水にそつと触れ離したように笑えり君は

ひとこと
計算したら含有率 11.5%でした。楽しかったです。り！

石勇斎朱吉

動画版

（お題提供…沼谷香澄）

先延ばしされた約束数えつつ静止画の君ばかり見ている
ため息 を こぼし ながら 歩いて く スローモーション で 進む 毎日
いいところだけを見ていた？（ごまかした）編集されたビデオのように
停止って言われたままで一ヶ月 再生ボタンはいつでも押せる
不用意に開けた扉の先にいる息を切らした動いてる君
汗だくで抱きしめ合つて確める君の目を見て 続きは WEB で

ひとこと
最後はWEBへと飛ばしました。楽しかったです！

泉由良

わざと崩したかき氷

（お題提供…九条しよーこ）

息噎ぶ夏、碧空に焼き付けて氷をくださいこの唇に
背泳が好きプールに通つたあとはかき氷ひとつ買つて貰へる
すり氷食べたからうと祖父が云ふ孫娘は水泳が不得手で
食べたいのは貴方でせうと祖母笑ふ祖父と孫とに氷を買つて
碧空が凍つてゆく、ねえ！思ひではときわ公園の夏の日に
銀の匙わざと崩したかき氷子ども時代はかへつてこない

ひとこと
お題が七音足す五音で「優しい方……！」と思いました。

井筒ふみ

美しき鳥肌を求めて

（お題提供…chari）

筆とり素肌をさらし歩き出す黄金の軍鶏の夜のお散歩
銀河町一丁目から三丁目しゃらんしゃらんと銀の木とゆく
やあ銀の木、やあ金の木、葉脈をぬけるそよ風ひりひり痛い
ぽっかりと口をあけたるスーパ―に「鶏手羽百円」の文字おどりおり
淘汰する側としてある虹色のネイルが我をさがしく呼ぶ
虹彩に金環いだく者たちよ今宵の宇宙は裸身の軍鶏座

ひとこと
あ、暑いですね。

伊波慧

寒ざらし心中

（お題提供…黒井真砂）

あしゆびがやけに嬉しい帰路きみが横にいてただそれが幸せ
湯上がりのあなたが風をひとり占めしながら寒ざらしにする体
白玉を飲み込むようなぼぼぼぼ言えないことは言えないままで
ありふれた関係であり「ただいま」に声が返ってくるだけの日々
心中をするならどちらともなくてふたり同時に死ぬのだろうね
吹き込んでくる風にねむたくなつてうつくしい約束をしている

ひとこと
3年目も無事たのしく詠むことができてしあわせです！

今村亜衣莉

放課後の図書室の憂鬱

（お題提供…なるなる）

下を見ることはきつと悪くない机の上に造花は咲く
*
並んでる本と本に隙間はなくて（ブックカバーに閉じられた誰かの人生）
つぶれそうな瞳を開けてでも見たい西日はいつも赤色で射す
黒い液晶の横でつらそうなバーコードリーダータ方も過ぎて
図書室の近くには必ず喫煙所がある
灰皿の灰の奥で橙色はノックをしているとん、トン、ドン
（病名をください、どうかわたしにも）精神疾患の本を読む

ひとこと
貴重な体験で、6首に収まり切れませんでした。

岩間龍也

物臭な太陽

（お題提供…津野桂）

夏だから仕方ないだろ暑いのは俺も熱いし文句を言うな
日の出から日の入りまでを支配する残業代は出たりはしない
上空に雲が有ろうが無かるうが年中無休のサービス業
夏休み冷たいアイス夏祭り羨まし気に漏れた溜息
プールとか海とか行つて涼むなら俺は毎日自分を焦がす
寝返りを一回したら空を焼く今日が終わつて今日が始まる

ひとこと
2回目の参加になります！マジ太陽半端なやつ！

牛隆佑

星座に名前を付けましょう

（お題提供…岩間龍也）

火は灯る 珈琲を淹れるためのものやがて文明のはじまりとして
雨は降る たとえば傘をひらかせてたどえばあなたに本を読ませて
風は吹く 風が吹いたら空五倍子のあなたのシャツを国旗に変えて
海は在る そうして僕は何度でも「あ」と言うだろうあなたを知つて
人は死ぬ 劇中劇の夜が来てひかりを孕んでいるグラニテ
星は落つ はるかなるぼくたちならば神話のあとの星座になろう

ひとこと
資料として『聖闘士星矢』を読み直したけど懐かしいだけでした。

有無谷六次元

私はその人を常に先生と呼んでいた。

（お題提供…宮本背水）

「目いっぱい恨む」失礼のないよう「言われた通り」言われた通り
血の色に錆びたチャイムに背を濡らし連れてきた影を引き剥がす時
もうきつと教わることの何もない私が人ならあの人も人
食べられないものに等しく価値はなく知らない街で火花が上がる
黒い精に侵されるたび満たされる正しくなさとその愉しさに
呼び方も変わらず私は肉のまま ほんとのふたりぼっちの今も

ひとこと
思つてた以上にフレッシュがすごかったです。

泳二

半熟の月

（お題提供…楔）

焼き色のうすいトーストひとひらで三百五十円の朝食
ご褒美のようにゆで卵をかじる指を伝つて垂れる卵黄
未開封メールが二百件残る受信トレイに「ばかかよ」と言う
アポイントメントがアポイントになってアポになってもアポが取れない
僕たちを吐きだしパスはよたついて夜がすっかり始まっている
コバルトの皿にこぼれた一滴の卵のようなオレンジの月

ひとこと
かつこいいタイトルだったのでできるだけかつこ悪くしてみました



えだまめ

小松菜は炊かずに煮てよ

（お題提供…綿菓子）

もどかしい毎日にみどり足すのなら枝豆ですか小松菜ですか
おべんとう青菜にトマト卵焼き朝日も浴びて良いおかあさん
小松菜奈小松菜どっち？とつぶやいて何言ってんだかわからなくなる
（油揚げと小松菜を炊いたんが好き）うなじ触れつつ浴衣の話す
小松菜は炊かずに煮てよ 抱かないで愛してみてよ私のことも
茹ですぎた小松菜をそつと握りしめ煮汁に浸す（ごめん、ごめんね）

ひとこと 申し訳なくしてお腹いたいです。

逢坂みずき

早見沙織に会いたくて

（お題提供…天野うずめ）

窓際の早見沙織と目が合った開きっぱなしのアニメ雑誌の
「東京がこっちに来い」と言いながら靴ひも結ぶ弟の背な
弟は早見沙織に会いたくて時給700円で働く
最寄り駅までは車で十五分ここは地方と呼ばれるところ
弟が後部座席でゲームする蝉しぐれ窓を閉めてもうるさい
もう好きにお行き 迷子のお知らせがイオンに響いた夏遠ざかる

ひとこと 早見沙織をググるところから始めた。一つ知識が増えて良かった。

大橋春人

カルピスウォーターワールド

（お題提供…のにし）

丁寧なカルピスをかき混ぜる人よいつか砂漠に行ってみようよ
ああ真夏コップの氷が溶けている君を裏返したい今すぐ
王様になれないせいだカルピスの濃さを何かの暗喩となして
遠くには野球中継が聞こえる遠くにはカルピスの星がある
朔太郎詩集を本棚から抜くためいきを空白にふきかける
夕暮れはカルピスのとき人並みに静かになった参道に行く

ひとこと カルピスならばほのエロだ！と思っただらこんなになつてしまいました

小川窓子

タコのパウル

（お題提供…寺村たこ）

占いを信じるかい皆Yes and No目の前の刺身を信じるよ
運命の見えぬ分からぬ夕焼けのなりそこないだが夜はやってくる
小さき者ボール一つに渦を巻く世界を知って大海を知らず
パウル君日本の十六強を見たらう君の手はもう必要ないんだ
客席の久保君青く走るとき預言者になる解説者たち
おすすめのココの頭は灰色で君も肉かど一人で食べた

ひとこと オーレオーレオーレ！

小澤ほのか

二人乗りして帰ろうか

（お題提供…都季）

昼寝して君が出てくる夢をみた 逢いたくなって素直に思う
とりあえず起きて天気予報を聞く どうやら午後は曇りのち晴れ
錆びついた自転車に油をさして君のもとへと飛んで行くから
ママチャリの後ろのカゴを取り外し君を乗つけて河原を目指す
貸し切りの河原からみる夕焼けが君の涙に照り輝いた
夕暮れの寂しさなんか吹き飛ばしさあ二人乗りして帰ろうか

ひとこと 頂いたお題の雰囲気壊さず詠むのは難しかったです…。

折原咲樹

マリンパークと武田勝頼

（お題提供…nukothecat）

閉館の闇に飲まれた水槽に本当の海と死が広がる
雄叫びは客車の窓が封じたよ電車は水のなかを走る
骨壺に溜まる埃がうごめいて死んだ魚を呼ぶ宵の口
地底にて眠る数万の白骨と鮪は泳ぐ息を散らして
窓の外歩くにんげんお魚の群れと間違える常夜灯
がつこうに毎日毎日行ったらば武田勝頼と知り合えたかな

ひとこと 知らない言葉、知らなかったイメージです。面白かったー！

貝澤駿一

〈湖畔のアスparaガス工場〉事件

（お題提供…河村壽仁）

ピーターの青いチョッキが夏空にゆれて湖畔は平和のかたち
太陽も風も知らずに育ちゆくホワイトアスparaガスの孤独よ
印象派かぶれのへたくそな画家が大作〈湖畔の工場〉を描く
収穫に三年あまりがかかるという銃のようなアスparaガスは
アスparaガスをアスベルガーと言いつゝぬむ少年 夕陽の目で語り出す
泣くだけの感情がまだあったこと あえて事件と呼ぶのであれば

ひとこと アスparaはみそ汁にいれると意外とおいしいですよ。

@kaizen_nagoya

夏至の日没5分前

（お題提供…竹内亮）

北極圏夏至は白夜だ日没がないので五分前にはならぬ
solstice 赤道面から距離最大地球が真球じゃなく楕円体
夏至祭富士山頂から御来光伊勢二見浦夫婦岩から
天体の観測オーロラ共役点アイスランドと昭和基地とで
芒種夏至小暑と大暑立秋だ処暑まで水分補給麦茶で
極光は電離体発光雷や炎太陽星雲のとも

ひとこと 「未来」2018年11月号月詠「歌人のふんどし」で提出

kaz

食べられる？つていちいち訊くな

（お題提供…檜原もか）

今日はわたし昔ばなしの人柄で米を研ぐからのござねだけで
スペインの雨は平地に降るとしてら抜き言葉をわらわないでよ
大丈夫、君の田舎の仕送りのどんな珍味も食べられるます。
君が云ふキミのイナカの風景に穀物乾燥調製貯蔵施設はあるまじ
一休を呼ぶ狂乱の彼の歌を口遊ぶからちゃんと聴いてて
食べられる、すき、あいつてる、ほんとうはいちいち訊いてほしいものたち

ひとこと 妄想が樹形図のように枝分かれしていった。楽しかったです。

加瀬はる

水深27メートル

（お題提供…高橋彩）

そこからは音のない国 水中のみずのかたちをだれも知らない
出逢うのは雨降る夜の軒下をわたり歩いてきたような顔
背泳ぎの背を水面に託しつづすむゆたかさ 性愛というのは
かなしみの比喩だったから歩み寄る足裏は影貼り付けながら
水深の昏さに肘まで浸すように掻き抱いて知るたがいのかたち
海鳴りに海あふれ出し波となり岸边にみどりのガラスを寄越す

ひとこと タイトルを読んで某半魚人映画が浮かびました。二次創作です。

かつらいます

童貞聖マリア無原罪の御孕りの祝日

（お題提供…佐藤涼子）

冬珊瑚 海を知らない指先に毒を潜めて君は純潔
童貞を辞書で調べる童貞になり得なかった霜焼けの手で
十字架がただの十字であった日の無為の詩想のような粉雪
母胎から旅立つ前に選ばれてマリアよマリアしあわせであれ
十二月八日なんでもない夜に母が静かにめくる歳時記
踊りましよう童貞聖マリア無原罪の御孕りの祝日に

ひとこと 味わい深いタイトルでした。まさか季語だったとは。

金子りさ

白い食べ物黒い食べ物

（お題提供…森尾みつな）

味覚が変わるようにホラーが好きになる あつちの水はあまいのだっけ
怒りではないのに 野菜が高いことあなたに言えば語尾が泡立つ
桃よりも桃の味してうつくしい清涼飲料水、どうめいな
怒られてふいに駆け出す図書館の子どもからマヨネーズの匂い
知らない人のレシビを胸に写しとるすずしい風がもう吹いている
しろたえの素麵ふたり分け合ってそこから夏を終わらせてゆく

ひとこと 一見簡単そうて実は難しいお題でした。



かのきあやか

未言の宝箱

（お題提供…奈月遥）

言の葉を未だ掬^{すく}わぬ君とゆく遊歩道には小石が光り
幼子^{おさなご}が操^{あそ}っているデスヴオイス「ママ」ではなくて「ママ」なわたくし
泣く・笑う　アーという音／君の音　たぶんすべてはここにあるのに
木曜日診察室に降りそそぐ陽射しに同時に目瞶る母子
いつかいつか思い出になる「おはよう」の代わりにメガネ掛けてくれた朝
泣き虫のふたりは忘れるのがヘタで宝のありかをたくさん知ってる

ひとこと　お借りした題に自分の血が通うよう、試行錯誤した日々でした！

涸れ井戸

全部ドリアンキャンディのせい

（お題提供…薄荷。）

お土産にもらった奇臭キャンディが多様性への扉を開く
妖しいと決めつけるより騙されてやろうじやないか掌中の飴
特養の深夜徘徊ノスフェラトゥ優しい台詞を巧く使う
本当のことを嘘の言葉でしか語れないから僕は嘘つき
禍は転じて福となるだろか底なし沼に眠る宝玉
婆ちゃんの夜の奇声が止みました全部ドリアンキャンディのせい

ひとこと　初めまして、この度はスリリングな企画を楽しませて頂きました。

河村壽仁

平成最後の遅刻

（お題提供…みずいろ）

小渕さんの掲げしボードに茶を噴きぬ　清盛子孫の我が名は〈成〉^{しげる}
パン街^{くは}へ地下鉄階段駆け下りて改札通る〈儀式〉だ、朝の
〈たいら・しげる〉の私が死ねば墓石に〈平成之墓〉と刻まれるのだよ、きみ
霞ヶ関駅にて私の記憶は途絶えてゐる　あとはひたすら真つ白な空白
あの朝もいつもの朝と変はりなし　誰かが圧^おしてゐた、私の胸を
海端の風に吹かれて私はゐる。来給へよ、大遅刻の私の〈墓〉へ

ひとこと　タイトルから捻りを考えるのが楽しかったです。感謝です。

希屋の浦

あかねさす折句

（お題提供…本田葵）

朝焼けにかじかむ手指根雪とるさむくはないよすぐさみしい
鮮やかな鐘がゆったり音を閉じてさらりと夜の透き通る空
愛してる輝くことば念じればさつと飛び立つスズメ住処へ
青嵐カンマみつつの寝不足をさつさつとばせすつきりどばせ
雨の降る片っ端からネオン濡れさきほぼまでの澄んだ夜まで
在りし日のかんばせ美しと眠たげにさくらが言ったすみれが言った

ひとこと　楽しく悩みつつ作りました。物名のひとつなんですわ。

楔

モニタージュ写真の嘘と真実

（お題提供…吉澤ゆう子）

触れたことすらない人からくる手紙　淡く留まる体温の跡
揺れた日の着信残る　それ以外なんにもなくて春、七度目の
慈しみは星　等しく夜に染みて　輪郭だけにくちづけをする
分岐する客車が切り離された夜　きみと眠れる二を思う日
ただ　感じ取れたらよくて海なんて見に行くつもりはなくて革靴
モニタージュみたいだなんて思うんだ　更新のないTumblrをめくる

ひとこと　ぎりぎりタイトル範囲内を作ってみました。たのしかったです！

九条しよーこ

うどんのない世界

（お題提供…大橋春人）

こんにちは　こちらはうどんのある世界　うどんの好きな私がいま
安くても高くてもいいあるだけでなんだか安心してしまいうどん
風邪の日はどうどん、風邪じゃない日でもうどんで母の呆れた顔だ
はじめての一人暮らしではじめての買い物うどんと一緒に帰る
さみしくて泣きたい夜があったならいつでもぬくいうどんがあるよ
うどんのない世界のきみへ　これを読む時にはうどんをふとんに変えて

ひとこと　大学受験のとき昼食に毎日うどんを食べていたので受かりました

久保哲也

アンケセナーメンの青い花束

（お題提供…穂崎円）

神の名を何度変えてもわたしだけ呼べた秘密の君の名があり
血の色が青い君ですこんなにもさみしさばかり無駄に保って
本当に光るフアラオの杖として歩めたのかは知らないけれど
せめてあの出会いの場所に咲いていたヤグルマギクを花束にして
手折られた君の命の青色を涙とともにつぎたしましょう
そうすればナイルも空も君が呼ぶわたしの名さえ永久^{とこしえ}に青

ひとこと　ツタンカーメンと正妃の時代。飛べて楽しかったです。

倉橋千帆

狸百匹箸八膳

（お題提供…ネコノカナエ）

A Iのように平らかな音声で君の言葉を聞き返している
穏やかで一音一音丁寧なさよならさえも素敵な声だ
ゆつくりとスマートフォンは熱くなり耳の深部で声が焦げ付く
気が付けばじゃあねと言つて切る通話（言葉は気持ちを置き去りにする）
行かないで「狸百匹箸八膳」あまたうまく言えなかったね
わたし以外誰も存在していない深夜三時の孤独は優しい

ひとこと　難しいお題でした。そして外部売を久し振りに思い出しました。

黒井真砂

似て非なるもの、緋なるもの

（お題提供…高松紗都子）

栢榴石くちに含んで待つているヴェールのような黄泉のくるのを
菊花石つるりと撫でるお仏間の生きているから饅^{まん}える花たち
人魚の血みたいに緋^ひくアマリスいよよ可憐な祖母の微笑み
きつと膚^{はだ}を撫でにくるのだ花園の下に幽^{かすけ}き出目金の骨
あかつきの色のドレスの（ああ僕の歪^{かまけ}んでく骨）位相ずれゆく
断裂のかさぶたとして幾重にも降りつもりゆくさくらのシール

ひとこと　緋いインクで書き上げました。和の色名の興行き深さが好きです。

黒川鮪

おまえたちのエスノメソドロジー

（お題提供…牛隆佑）

金八にやたら似ている先生が「おまえたち」って僕たちを呼ぶ
理解とは受け入れることさしさしどていねいに三つ編みをかさねる
スカートのホックをはずす時に風きつと何かを忘れてしまう
号令が「オス！」広がって野球部それもおなじ速さで
自販機の売り切れランプにキスをするいろんな人に分かつてほしい
文字は星貸出カードのはじっこに「エスノメソドロジーを探せ」どの文字

ひとこと　まず最初にエスノメソドロジーをググりました。

郡司和斗

さみしい動物たちの図鑑

（お題提供…文車雨）

自己紹介の最初にすみませんと言う君に冷やしたみかんゼリーを
段ボールをまだ家具として使ってるこのシェアルームにも春の風
ペヤングの湯切りのような雨音に目覚めればぼろぼろと本音が
シュノーケルつけて湯船に沈みこみ夏が来るまで眠っていたい
こんなにもなにもしてない一日の優等生のようなゆうやけ
思い出はコルクボードに貼りつけてさみしい動物たちの図鑑

ひとこと　想像の広がるタイトルでした。ありがとうございました。

小泉夜雨

ゆるやかな落下

（お題提供…塚田千束）

ひらかれたページを撫でるふかぶかとわたしは森に迷つてしまふ
電球の鼓動のやうな点滅よおそろくきみはやはらに触れる
ゆめ　ぜんぶゆめ（ほんたうに？）明け方の窓辺にのこる煤けた指紋
追憶をもたないきみの横顔を髪を呼吸を焼き付けてゐる
食器棚の上に転がる指のこといまは忘れてねむりませうね
くりかへす落下のなんてゆるやかなゴールドベルクの鳴り止まぬ部屋

ひとこと　たのしい落下でした、ありがとうございました



御殿山みなみ

終わってなんかいなかったじゃないか
（お題提供…とみえひろ）

また後で 最終巻はぶ厚いいつもの袋やめておいてね
また明日 教えないけどあのCMソング4番まであるんだよ
また来週 それ意味不明だろうけど僕だしフレンド登録してて
また今度 いつものガスト消えてたのお互い知らなくてうけたね
またいつか けっきょく例の芋焼酎カラにしちゃったし買っておくから
またいつになるかなんだけどやっぱ僕ら終わってなんかいなかったじゃないか

ノリノリで作れました。他人様のふんどしほんま楽しい！

小林礼歩

モンゴリアン・デス・ワームのキッチン
（お題提供…中山とりこ）

母の日に子供が描いた似顔絵をお札のようにキッチンに貼る
ル・クルーゼ ココット・ロンドでコトコトとコドクを煮込む 味見はしない
日蝕のニュースをじつと聞いている 湯呑茶碗で飲む コカ・コーラ
なかないで薬缶のようにならないで（私の底で蓋が外れた）
正体を失くして毒を吐きまくる私はきつとヒト型UMA
キッチンに現れ消える砂漠にはモンゴリアン・デス・ワームが眠る

虫が苦手なので毒方面から攻めました。難しかったです…。

西藤智

電車に乗り遅れました
（お題提供…ふらみらり）

太陽が高くなったね廃線の日にも枇杷の実まだ熟さない
本の背に指掛け選ぶ君を見る 選ばれるのを待つころもち
この先にあるのだろうか僕たちのあくび隠さぬ健やかな日々
君が去る日のシミュレーション繰り返し繰り返す「無理先に消えたい」
残れとも来いとも言わず行くのだね 見送ることが僕の結論
最終が行った鉄路の音を聞く耳の赤錆そのままにして

電車には乗り遅れましたが、べ切には間に合いました。

ササキアンヨ

オリオン座は冷々存にして
（お題提供…今村亜衣莉）

字もかすれ埃の残るコクーンにはオリオン座すら眠っているのか
あの星もあの川も無いこの世では氷の橋で彼岸へ渡る
おおいぬとこいぬを連れて歩こうよオリオンはもういないけれどね
サソリにはよく注意せよこの冬に砂漠を渡り空に帰るか
凍てついた三つ星はもう光らないただ眠るだけ空の果てより
死ぬことを考えている旅人に寄り添うきみのコクーンを掘れ

今年はりベンジー他の人の短歌を見るのが楽しみ。

佐藤涼子

3月の雷神
（お題提供…若枝あらう）

少年が手をさしのべて示すとき遠くの天に雷が轟く
ユカタバの空の青さを恋い恋いて私を睨む暗い瞳よ
年下の男も好きよ ぶつ切りの茄子を滾った油で揚げて
唇を嚙まぬキスもあるのだと春の嵐のように教える
金の矢のような傷あと背になぞる 嗚呼、匂いたて三月の闇
神に愛されすぎてはいけない 犬の背にもたれる君の眠りは淡く

縦書きの算用数字が難しく漢数字に逃げました。ごめんなさい。

三月海月

最果てのコンビニ
（お題提供…皆川せつ）

上品なおばあさまにはお迎えの猫と娘がお待ちかねです
制服にその身を包んだ女の子せめて桜花をサービスしますね
イトイン根を生やしてお父さん呼んでる方がいらっしやいます
下半身だけの少女が店内を歩き回って迷子でしょうか？
つかまえた少女をぎゅっと抱きしめたお母さんの手が退店されます
現世でも幽世でもない最果てのコンビニは今日も営業中です

難しかったけれど楽しかったです。

しま・しましま

非ゼロ和ゲーム
（お題提供…橙田千尋）

八枚切りの食パンを買う 土曜日は必ず海へ遊びに行こう
のばらさんのサンドイッチはゆりさんのからあげふたつと交換される
のばらさんのりんごは二つ ゆりさんがぶどうを食べたらりんごはいくつ？
ゆりさんがりんごを食べてねむってる ばら色の頬 寝息はたてずに
かみなりのつづく夜ですマキシ丈スカートでゆりをくるんでやって
五枚切りの食パンを買う カスタード液に浸して日曜を待つ

普段の生活の中にな言葉だったので難しかったけど、楽しかったです。

嶋田さくらい

いつかそこに立つとしても
（お題提供…堂那灼風）

たぶん二度と来ないんだろう三匹のブーフーウーはお店の名前
草刈りの野原に綿毛が散らばってこんな風になんでも終わり
いつも同じ明るさでいるコンビニのプリンはわたしを裏切らないし
どの人も柔らかい肌持ち寄って優しくなれる気がするホテル
公園を歩いてみれば居心地がいいよね夫婦みたいな距離は
いつかわたしを忘れて死んでしまっても撫でてあげるよあなたの墓標

とてもエモイタイトルをもらってわたしらしく詠みましたごめん

雀來豆

天使依存症の結末
（お題提供…東ころこ）

ガチャポンで得し天使像突として隕石のごと落つ夕餉時
薄明市片夕暮市晚陽市たそがれは果てしなくつづけり
あの天使たちも展示の一部だと説く博物館長の口髭
いつか百四十キロを出してと言つてばくの肩を噛みながらくつきみの笑み
ばくら万全されどこんなに暗くては天使が降りてくる場所がない
銃、象牙、まぼろしの光りにみちてエンジェル貿易商会の夏

今、夏と、ミナストフ・ソフトクリームの車が通りすぎて行った

榛葉純

ビッグマンに辿り着けない
（お題提供…嶋田さくらこ）

ビッグマン、ビックカメラの前かなあ 東京人はヨド橋渡る
【ちゃうそこやない】のLINEに既読つけグダる 大阪＝梅田？！
「あつこまでバーツ！行ってギャツ曲がり！」ごめんおっちゃんわからないです
角っ子をギャツと曲がつて思い出す梅田はたぶん地下街 潜る
GPS 鎮まりたまえ地の神の怒りがGoogle マップを乱す
梅ダンジョン攻略できず結局はわけのわからん噴水の前で発見されましたとさ

梅田の地下街はほぼ玄人に連れられるがまさにしか動けません。

杉谷麻衣

お菊に紙皿、花子にナプキン
（お題提供…西淳子）

バーベキュー食材よりも大事だわ百均十枚組の紙皿
「皿よりも肉を数えろ」牛タンは一人二切れつくねは三つ
古井戸もトイレも似たり寄ったりじゃないの花子の美脚が憎い
そんな目で見ないでちゃんどあるはずの紙皿 一枚…二枚…足りない…！
薄暗いトイレに呼ばれ「アレ持ってない？」と花子に迫られている
紙皿は割れないけれどくっついて花子に二枚 あゝうらめしや

関西人魂に陽がついたまま燃え尽きてしまいました。

スコラブ

マンボウの消しゴム落っこってるんだけど
（お題提供…小泉夜雨）

なにひとつ気づかないひと水槽の硝子を隔てたように横顔
本人の知らないうちに描かれるノートの漫画が四ページ目で
なにもないなにしてもいいこの部屋を十トンほどの水で満たして
そこにいるあんたじゃなくて妄想のきみと水族館に行きたい
環境の変化で死んでしまうから境界線は越えぬいきもの
マンボウの消しゴム落っこってるんだけど言えば負けだしはやく気づけよ

来世は水棲生物になりたいですがマンボウは悩むところです。

鈴木えて

千年白詰草

（お題提供…アルミニウム）

力任せに白詰草を引き抜けばあんどこまでも続く地下茎
復讐の名を持つ花を編むときの指先は青臭く染まって
スカートの裾を無邪気に翻す はらりと落ちるあなたの光輪
この原に四つ葉は決して生えないと知りつつあなたが探すのを見る
穴二つぼくと花野で遊びましょう三途の川は渡るぬまに
千年も億年も時を奪いつつあなたに花輪を贈り続ける

ひとこと 短歌に再び向き合うよい機会となりました。

鈴木智子

台風とともに去るのはぼくだけど

（お題提供…知己 凜）

台風が来ているらしい「見に行く？」と僕ら少年のようにはいしゃいで
なみなみと流れる川を横に見てこのままチャリで海へ行こうか
堤防を超える高さの波すごい「危険です」とどこから聞こえる
びしょ濡れでとぼとぼ帰る帰り道 人生は時に台風みたいで
「そういえば、」君の黒い目が僕を見る「きみが誰かを僕は知りたい」
台風とともに去るのは僕さいつかまたどこかで会おう どしゃ降りのなか

ひとこと 今回は割とすんなり書けました！ありがとうございます。

須磨螢

どてらい女

（お題提供…涸れ井戸）

ふうわりとぬばたましろたへくれなるを身に侍らせて墳蜜のあり
目的は手段に勝るメーテルは片道切符で子供を誘う
ブラウン系弁当のオンパレードで我が青春を支えし母よ
ぐずぐずと婦長の愚痴を言う妻の急変患者に飛び出す速度
セクハラのクレバスかすめキャリアパス（たまに怪我して）駆けてきた乙女
数多ある地上の星のそれぞれの名のあることのどてらい愛の

ひとこと 苦しさを楽しさが拮抗した今回でした。ありがとうございます。

諏訪灯

台風メガネ

（お題提供…たた（三瀧忠典）

洋上にメガネを忘れた台風は今日も迷走し続けている
おすすめの進路をメガネよ見せてくれできれば水が足りない土地を
僕の目はそろそろ歪みはじめてるさよならメガネそのうちまたね
願わくばこのまま遠くで旅をしてこの町にはもう気付かずにいる
台風の入ることがあるのなら探してみたい特大レンズ
思うまま嵐になれるメガネなら手元に隠し持っておきたい

ひとこと 難しいお題でしたが色々な視点で歌を考えられました。

せき

エポックメイクイン

（お題提供…谷じゃこ）

みだれ髪、ルーズソックスいつだって時代を作ってくのは女だ
山動く瞬間掴みし栄光は晶子とたか子、次はいづこか
やわらかくところける女じゃありません、10センチのヒールで武装す
テレジアン・イエロー萌ゆる私たち平凡だけど誰もが女王
オンリーワンのリスト奏でて厳かに鳴るはフジコ・ヘミングの鐘
指先に力が宿る解放はすぐそこにある女王の左手

ひとこと 自分では思いつかないようなお題をありがとうございました！

宗谷燃

異世界心中

（お題提供…淀美佑子）

本当のあなたの温度が知りたくて陸へ上がった手に手を取って
墜落じゃ面白くない金星と一緒に羽を燃やしにゆこう
愛してる声なき声は火となって長い睫毛をおりぢり焼いた
エスパーと名乗るあなたと今ここで飛び降りようとしてる 静寂
皮と皮隔てているのがもどかしいすべてを脱ごう戻れなくても
胎内へ還りたい子宮を持たぬあなたの体内ここが異世界

ひとこと とても好きなお題でした。ありがとうございました。

たえなかず

逆におれだけアリバイがある

（お題提供…伊波慧）

だんだんと嫌いになってそのうちに死ねと願った彼女、去年の
鏡越しに影と夕映え 殺される動機のひとつ恋の炎天
不審死を問われ夕立ち傘がない逆におれだけアリバイがある
供述の、都会の隅の、アパートの、かつてのふたりの話なんかする
恋人が四人いたんだおまえって 背後でいとしのレイラ鳴る
アリバイの響きひそやかたまゆらに皺の刑事の上に満月

ひとこと めちゃくちゃ想像力をかき立てられて楽しかったです。イマジン！

高木一由

接眼レンズの恋・理科室にて

（お題提供…秋鹿町）

実験と称してきみの感情を覗き見ている試し行動
きみはただ微笑むだけで喉元に溜めた言葉を見せてくれない
自意識の過剰を覗き見る度にカパーガラスを何度でも割る
あとづけの接眼レンズはゴミみたい感情ばかり拡大させる
この恋を保存するためiPhoneのカメラとキスする接眼レンズ
触れられず覗き込むだけ理科室で今日もわたしはプレラートを

ひとこと まっ毛が長くて顕微鏡が上手く見れなかった事を思い出しました。

高橋彩

レッドホットフライドバナナ

（お題提供…ハナソウ）

赤道の真下に暮らすインバラを模してきれいな逃げ道を行く
辛酸のモル質量を求めなさいただし昨日は大雨とする
揚げ旬にはピアスを落としたその夜にわたしの足は疎みをおぼえた
バナナにも種があったと知るように母の昔の呼び名を知る昼
常夏の国でもたぶん泣いたあと食べると程よいビスケットはある
自発的均衡の破れ 熟された果実が自重で溶け始める日

ひとこと 有難う御座いました。ねつちりバナナに仕上がっていますよっ。

たかはしりおこ

深海八千メートルの朝焼け

（お題提供…西藤智）

手が舌が唇がふれたところから波紋ひろがる月光の部屋
ひらがなにひらかれながら無意識に口からもれていく言葉たち
息継ぎが次第に揃っていくみたいこんなキスの相性がいい
わたしたちこの闇でしか生きられないヘイダルゾーンの魚みたいだ
夜と朝／上と下との境目がわからなくなるような水底
朝焼けがこの心臓に燃えうつる好きといえないことがくるしい

ひとこと 好きなタイトルゆえに難航しましたが、楽しく詠めました！

高松紗都子

初恋倶楽部

（お題提供…柊木七生）

胸骨をふいに涙がさかのぼる会いたい人に会いたくだけで
紺シャツが色あせてゆくこの夏のすこやかさってたやすく翳る
向きあえば明朝体のおとなしさ白いページに視線おとして
あまくものたゆたうところたずさえて扉をたたく初恋倶楽部
「初恋は生の一回性ゆえに」黒板に書くホムラ先生
「はじめて」は日々失われてゆくけれど今日の答えを記憶にのこす

ひとこと 中学生ぐらいをイメージしたのですが、初恋って、もっと早い？

高村七子

水辺の部屋とその傾き

（お題提供…丸田洋渡）

湖をのぞむ宿へとやってきた君と別れる儀式のために
和室からつながるように広がっている湖に夕陽の道が
あの道をたどっていけばいずこかへたどり着けるの？にぎる君の手
陽が落ちてしまえば窓の向こうにはただ暗闇が広がるばかり
目を閉じて抱き合いながら水中に沈んでいこう部屋よ傾け
なすすべもなく夜は明けてまっすぐな部屋の窓辺に光る湖

ひとこと かの人のふんどしきゅつと締めながら我がふんどしを託すあなたに



竹内亮

迦陵頻伽

（お題提供…小林礼歩）

午後4時に東京駅にいる人の同級生のような偶然
玉砂利は五月の雨に濡れていたあなたの白い顔を照らして
本堂にただよう匂いをかいでいた三毛のしつぽの揺れていたこと
レコードに針を落としぬ旋律が始まるまでは海の静けさ
はつなつに水浴びをするハッシユタグ 迦陵頻伽の冷たい空へ
手を伸ばす すき間の奥に鳴いていた子猫のせなに触れた中指

ひとこと 土岐友浩さんが難易度Sと言われたお題、楽しかったです。

たた（三瀨忠典）

やるからみてて

（お題提供…石井大成）

一階のホールで君を待っていたピアノには手を触れないでいた
十階の展望台を見上げてるいまからそこに行つてやるんだ
絨毯は土足で歩いてもよくてスリッパに履き替えなくてよい
「なにも無い」と「なにも見えない」とはちがう真昼間に見る藤原宮跡
倒立をやるからみてて香具山と畝傍山とでバランスをとれ
うつすらと夏霽かかる宮跡の西に東にどちらにも山

ひとこと 職場の十階には展望台があります。逆立ちできると思います。

田中ましろ

向いてない扇風機

（お題提供…禾口まる）

ねえムーミン、いつか私が死ぬときもあなたは笑っていてねムーミン
夏向きの人だったよね冰山をまるつかき氷にするような
明後日を夢見てばかりの扇風機 うわのそら あ、ひぐらしのこえ
フィンランドはここから遠くたぶんいま扇風機の向いている方角
偏西風の一部になって飛んでいくスイカひとつを手土産として
われわれはうちゅうじんだ、が風に乗りムーミン谷に走る戦慄

ひとこと 最近暑すぎるので涼しい作品を詠みたくまりました。

谷口泰星

デオドラントシート

（お題提供…道券はな）

安売りで積まれた愛の隙間から聞こえる こっちへおいでよの歌
お好みのカラーを選んでお好みのサマーを各々お始めください
汗かきの世界のために特注で作ったあげたデオドラントシート
何種もの香りが混ざり合いそれを個性と勘違う教室で
これは汗、それは涙で、あれは何？ 大人になんかなりたくないな
革命が起こった休み時間から一人残さず恋を始める

ひとこと 難しいタイトルで苦戦しましたが、無事にふんどし締められました。

谷じやこ

暗闇にぼんやりひかる

（お題提供…淡海わこ）

羊羹の家に住むなら照明にこだわりたいな 羊羹は虎屋
考えがすぐに寄り道してしまう ねことかいぬとか横切るよねー
目を閉じれば寿司アンド寿司それなのに寿司が勝手に回りはじめる
新規フォルダに新規フォルダを産み付ける夜中の四時のこわいもんなし
願いごとかたつばしから書き上げてみれば果てなきくりていかりけり
コーヒーの黒もそろそろ限界を超えて遠くにぼんやりと朝

ひとこと ぼんやりって一体なんなんや……とひたすら悩みました。

谷村行海

口笛はなぜ遠くまで聞こえるの

（お題提供…中村成志）

元カノが指名手配の＊＊に似てると聞こえた最終電車で
ニトリで見るダブルベッドのふかふかに誰かが一人皺になつて
口癖が辞書にあったら怖いよね君が世界を見つめてそうで
段ボールの増える六畳一間からスピード婚のニュースが流れる
銭湯のサウナの話題が物騒で旅立つ理由の一つに加えた
「口笛はなぜ遠くまで聞こえるの」口癖の理由を君に問わずに僕は

ひとこと 家庭教師のトオイはハイジを使うのそろそろやめてもいいと思う

淡海わこ

喫煙推進株式会社

（お題提供…宗谷燃）

マドンナはマツチじゃなくてタバコ売り商店街の看板娘
煙らせた煙を幕にきみの夢はいつでもぼくが見させてあげる
オスメのパニラの香りを吹き出せば部長と課長も同じ香りだ
喫煙所に集うぼくらが一斉に吐き出す煙はハートのかたち
世の中のブームに逆らい8月のオフィスは紫煙にみちみちてゆく
今日もまた君の笑顔に会うためにマルボロライトを空っぽにする

ひとこと タバコを吸わないので今回のお題はとても難しかったです。

知己 凜

初恋に捧ぐ

（お題提供…月本ゆみ）

一回り大きくなったのどぼとけ母は「ママ」から「お袋」になる
息子にもようやく春が来たらしく見慣れぬ靴が咲いた玄関
はにかんだ笑顔は五歳児のままで向ける相手は母にじゃなくて
帰り道揃う歩幅と英単語受験生には大事なデート
友だちの友だちからの話ではクリスマス前に消えた恋人
初恋は誰の胸にも咲いていてきつといまでもみずいろのまま

ひとこと 今年も素敵なタイトル&出会いに感謝です

千原こはぎ

妻のある人

（お題提供…せき）

わたしなにしてるんだろう触れてくるその手に銀の魔除けは光る
好き勝手されてしまつて愛してしまわせた履き違えてしまう
蜂蜜のようなことばで何度でも引き戻されて我を忘れる
あと何年こうしているのあと何年まちがえたまま生きていきたいの
寄り添った写真の中のあなたさえたわしのものでなくて正しい
真夜中は正氣に戻る時間です朝には夢にまた帰ります

ひとこと 三枚目のふんどしはとても馴染んだふんどしでした！楽しかった！

chari

烏龍茶まんまトイレに流す

（お題提供…平出奔）

この星は地球ですよと教えられ生きてきたけど 本当ですか
カナヅチの僕の日常あがいても液晶画面に溺れていつて
「て」の文字が流れて読めなくなるくらい今日もあなたがほしい「たすけて」
アルマーニポールスミスを潜り抜け見紛うシャツをしまむらで買う
打たれても蹴飛ばされても痛くないサンドバッグのふりして君と
箱買いが断然お得！烏龍茶 お届け先も同じにしよう

ひとこと 予想外の腹痛に襲われ、間に合うかどうか。締切が？トイレに？

塚田千束

宇宙人にさらわれて

（お題提供…佳丘一穂）

遮断機の前に立つてる君からの電話のたびに震える明滅
恋人も猫もスマホも手放してこっちを向いてと呼ばれたような
カモミールティーの香りもわからない妙に座り心地の良い椅子ばかり
宇宙人にさらわれたみたい現実が遠く遠くで手を振っている
グラスには無数の水滴いつだって拭われるためにある私の手
落下する気持ちの良さを知らない私はここにどどまつていたい

ひとこと ピンクレティにはなれませんでした

月本ゆみ

グリンピースをつぶさないで

（お題提供…茨城そう）

友達がみんな結婚する夏だ上がり框であなたを待つて
気配だけあればいい方同棲の部屋のガラスに雨粒滲む
食べないならつぶさないでよ夕食の残骸ひっそり流しに捨てる
さみしさはバラバラ三角コーナーにグリンピースと旅に出ようか
ここを出る理由がグリンピースだとあなたが知ることはない さよなら
グリンピースつぶせないまま夏になるあなたが知らないわたくしの夏

ひとこと グリンピースグリンピース咬いた夏でした。おずかしかった。



津野桂

ノブレス・オブリージュ

（お題提供…松尾唯花）

「エミリーにバラを一輪」春の日に階段教室で聞くテクスト
教え子はわたしだけじゃない先生は誰の名前もおなじ声音で
教授室で紅茶を淹れて開け放つドアのこちらでふたりきりになる
屍を抱いたかたちで横たえる彼女のベッドは雨を含んで
なれの果て乾いた薔薇をかき抱くほこりのようでひかりのような
口の中で氷を溶かす幼さを手放すことも夏の激しさ

「エミリーにバラを一輪」フォークナー作、金原瑞人へ訳より

寺村たこ

フランソワーズ

（お題提供…泉由良）

発表があつてすぐさまググったようも知り合いにはいなさそう
とりあえず一人を選ぶ 連作の出来が悪けりや選択ミス、と
音的にフランソワーズ・サガンってどうにも短歌に詠み込みにくい
作品は一つも知らないんですけど彼女の経歴には興味ある
言葉から孤独と自嘲が透けている諦め、嘆き、そしてまた朝
サルトルと親交があつた人を詠むこれも何かの運命だろう

初めてのふんどし、緊張しました！

道券はな

パンダコパンダハンダゴテ

（お題提供…加瀬はる）

教材の基盤はかつてあこがれた都会の地図のように冷ややか
失敗は許されないと思うとき昏い湖畔にさざ波が立つ
歓声をあげるあなたの目の前で躊躇いがちに雫になった
お札にと霞のように掌に降り注がれるさくさくぱんだ
頼みごとが上手なひとはうなじから淡い陽射しの匂いをさせて
鬱蒼と茂る野球部そのなかに紛れあなたは青あおとする

はんだ好きとして気が引き締まりました。ありがとうございました

橙田千尋

花を食べる人

（お題提供…悠）

水筒に麦茶を入れる 大げさに氷を鳴らす 夏は避けない
コンビニができて潰れて雨宿りできる軒下だけが残った
ひとりで揺れるブランコ ここにあるすべてのものが風のお下がり
学校の周りを歩く 想像と同じ早さで老けるポスター
花を食べる人の家へと歩いて 戻っても記憶の中だった
この夏はドラッグストアを新しく記憶に建てておかないとなあ

何とかなりました。これからも何とかなるでしょう。

堂那灼風

平成最後のフリッカージャブ

（お題提供…南葦太）

これからも続いてゆくとと思うのに日に日に終わってゆく気がしてた
平成の次の彼方のまた先に銀河英雄伝説はある
ペランダに立って左を打ち抜いて散ってばらばらすぐ乾く汗
できること増やしたろーか要諦は脱力だってネットで読んだ
新しい時代に馳せるライダーよプリキュアよ我が夢の背中よ
過去形は分かち合いたく増えてゆく平成最後の夏なにしてた

上手な人は体幹や肩がブレないですね。まずは基本のジャブを。

都季

代打逆転サヨナラ満塁黒い下着ホームラン

（お題提供…有無谷六次元）

分かんない、なんたらかんたらホームラン、ナイターに叫ぶ横顔含め
そうなんだそれってすごいことなんだ代打くらいは多分わかるよ
（それよりも今日の下着は黒ですよ）アナウンサーとまだ叫んでる
敗因は価値観もといお互いに求めたホームランの違いです
同じ鍵二つ並べて朝が来て今日は漂白日和でしょうね
真っ白には戻れなくても灰色の下着をよげば新しい風

今年は結果的に灰色のふんどしを締めました。

土岐友浩

チョコミント症候群専門医試験

（お題提供…満島せしん）

チョコレート・ミントのように「かわいい」に愛という字が含まれている
36歳 男性 左利き から始まるレポートを書く
外来を早めに終えてチョコミント症候群の研修に行く
ハンデルスpeerゲンの地下一階でかわいいものが足りないと言う
専門医までにはだいたいぶかりそうだとふたつめのアイスを選ぶ
黒板の隅の小さな落書きの、チョコレート・ミント・ラヴァーズ・オンリー

チョコミントのおかげで暑い7月を乗りこなすことができました！

とみいえひろこ

メカニカル・ドールの悲劇

（お題提供…宮嶋いつく）

死なないで 衝かれたように穂芒が何光年の水辺にしなる
肩に触れ行く人が傘をひらくまでほのかに熱と熱は擦れつ
うずたかき善行の重なりを見上ぐ 私とお墓と青空のもと
この辺りまで通すのよ筋というは喉を貫く棒を見せつつ
メカニカル・ドールの悲劇 人酔いの止まぬ道路に無色に染まる
いいね きみだけの言葉で嫌だったことをぜんぶ記せよ

メカニカル・ドールになりきって街を歩き、ものを思いました。

ともえ夕夏

水星旅行会社

（お題提供…折原咲樹）

団体のセーラーマリーキュリー推しが聖地巡礼ツアーに行くらしい
オプショで今なら無料で金星に二泊できま…あ、いいですか、はい
今ですと片道プランが更に半額になりま…あ、往復ですね
寒暖差六百度ほどありますがよろしいですかと言えは黙る
同意書をコミック古印字体にしてファンタジーでは済まされぬこと
はいこちら水星旅行会社です 過酷な旅をプロデュースします

頭の中で水星旅行のプランを立てる面白い夏となりました★

とわさき芽ぐみ

ラブ・オール・プレー

（お題提供…逢坂みずき）

010で始める試合 光あれ ひかり、ことばで始まる鼓動
愛なのかゼロなのかなんて知らなくて握手のようなまばたきをする
シャトル 跳ぶ 飛ぶ この空が海になるまで私たち生き続けたい
トビウオが跳ねる地上は羽のないものに厳しい世界であつて
いつまでもフレイムショットで続かない関係性の軽さの名前
ラブ・オール・プレー 出来れば逃げ出したい試合は勝手に始まっていた

初めてふんどし締めました！！ひゃく難しかった！

中條茜

コインフラワーブルーのバーレスク

（お題提供…三月海月）

青が好き それらは空であり海でありわたしがいつの日か還る色
大それた本音をすこし忍ばせて今日も道化を演じて眠る
アルデバラン少女を終えてしまったら夢は夢のままなのですか
よく見て見よう見まねで踊るから何も言わずに笑ってほしい
青が好き 凜とさみしいその胸にヤグルマギクを挿してあげたい
うつくしき悲劇よりかなしき喜劇踊れよ靴の底抜けるまで

美しくて難しいお題でした。今のところ不安しかありません。

長月優

パスワードをお忘れですか？

（お題提供…かつらいつす）

誕生日、名前、記念日、好きな花、間違いだらけのパスワードたち
アカウントはしばらくロックされていてわたしはわたしではないような
「パスワードをお忘れですか？」リセットをすれば終わりにできる旅でも
いくつかの要素を窓に打ち込んで正解はまだ思い出せない
「パスワードをお忘れですね？」迷路にある出口のいくつかは偽物で
前触れもなく正しさはやってきて扉を開く こちらが世界

パスワードは忘れがちです。

中村成志

虚数解と踊る

（お題提供…希屋の浦）

どんぶらこ誰も虚数を拾えずに流されゆくを見送るばかり
みにくいといじめられるが虚数には水に自分の影も映せず
泉の精さん式をください鈍色の自分が嵌まるただの数式
Ⅱを渡れば式は光り出しこれが…わたし？と呟く虚数
あら虚数さん嵌まってくれてありがどうお礼に黒板で踊りませんか
ガラスの靴が脱げててもへいき虚数とは無いってことがあることだから

ひとこと 数学が万年「2」だった私には、これが限界でした……。くふう。

中山とりこ

タラレバサンドイッチ、ひとつ。

（お題提供…かのきあやか）

見込み無き十パーセントの人として窓のあかるき建物を出づ
雛菊に白雨があたりぼつぼつとふたりぐらしの淋しさを言ふ
諍ひの声を聞きをり食卓のタラレバサンドイッチ、ひとつは
計画の通りに出来ぬ人でした 枯れたる花を切り落としてつ
タラレバのレバのあたりがほろほろと零れて夏の暈がにほふ
ひかりより遅れて届く 雷鳴と電気料金利用明細

ひとこと 素敵なお題をありがとうございます。私もパンにはさまれたい。

奈月遥

テトラポットと熱いお茶

（お題提供…たかはしりおこ）

ひるすぎのひざしは火食む 自販機のをきボタンをおすゆびすらも
ゆれゆがむテトラポットにのこされし磯白湯わきてかをりたちたる
おおうみのつなみの眞森とうゑられしテトラポットはうちじにのやう
よつあしとなにしおひてもたちもせずあるきもせず夢海にしづむ
よつあしの炬をくみそそぐできあひの紅茶泡ぶきわきたちけるや
とむらひになりはせぬとも熱き茶をテトラポットのはかにささげむ

ひとこと お題を見て、アリスみたい！とはしゃいでた頃が懐かしい。

七波

え、まだ第三の目開いてないんですか？！

（お題提供…なべとびすこ）

台風の目の中のような静けさを持つ人と話す夜中のファミレス
延々とわたしばかりに話させて眼鏡の奥にあなたは籠る
眠いならもう帰ろうか（だいじょうぶ）ぬめりを帯びる夜に捕まる
曖昧に夜は更けゆく（いつてらっしゃい）アイライナーを引き直しにゆく
この街は明るすぎるから星なんか見えやしないのにあなたは遠い目
もしかして第三の目で見ているのふたりの間の天の川を（えっ）

ひとこと 第三の目が開いていないので難しかったです。

なべとびすこ

センチメンタルサーキュレーター

（お題提供…街田青太）

夏なのか ビニール袋を脱がされて押入れから部屋に移される
スイッチを押されて僕は動き出す君は背中を向けて立ってる
部屋中の空気をまわすこの夏も部屋にひとりでいる君のため
上向いて均等に首を振り続け君の独り言を聞いている
見たことのない人を君が連れてくる強風スイッチを押される深夜
いつもより早めに終わる夏だったビニール袋をかぶせられ秋

ひとこと 扇風機とサーキュレーターの違いがわかるようになりました。

檜原もか

かびばらの別腹

（お題提供…杉谷麻衣）

ファミレスは子らの戦場入り口で席で呼び出しボタンで争う
カビバラの黒い眼に宿るのは達観だろうか諦念だろうか
一杯のアイスコーヒー飲み干して子らのグラスに紛れ込ませる
立ち上がりパフェのりんごに噛みつけば子は齧歯類に少し近づく
子らの前だけに置かれたデザートを手伝うことで満たす別腹
母として顕つプライドがあるように湯船の柚子を食べないカビバラ

ひとこと 最初は泳一さんか思い浮かびませんでした。

なるなる

月と鏡

（お題提供…@kaizen_nagoya）

セーラームーンごっこばかりに明け暮れるわたしは無敵な幼稚園児だ
一緒に帰ろうとしてた友達のランドセル別の子の隣に
ニキビあり眉毛失敗丸い顔かわいくなりたいたい鏡よ鏡
数学の公式を覚えるよりも重要 枝毛ばかりみていた
デバコスをなんとか使えるようになりOLごっこを毎日してる
美少女戦士にはやっぱりなれなくあなたをひとり守れたらいい

ひとこと タイトルを見た瞬間、セーラームーンってなったアラサーです。

西淳子

赤と青ならどっちを切る？

（お題提供…逢）

つくくさんが恋はダイナマイトだって言ってた。赤い糸、切つとくよ。
青空の擦過傷から滲み出る夕焼けいたい、さよなら、いたい
土曜日の延長戦が続いたら日曜なんてほとんどないよ
「おやすみ」と呟く青に「起きててよ、起きててよ」 って赤の点滅
リスカって略せば少し可愛くて静脈からは嘘のような血
どっちとも切らないでおく命日が彼と同じでありますように

ひとこと 赤と青、どちらも切ってみました（着てみました）！

西村曜

ゴーストタウンに降る雨のこと

（お題提供…貝澤駿一）

いくつかの言葉はついに届かずにポストオフィスに降る雨のこと
帰る場があつてはじめて旅となりバスターミナルに降る雨のこと
立ち尽す手持ち無沙汰な青年とガスステーションに降る雨のこと
お客さまがおかけになった先々のコールセンタ―に降る雨のこと
まばたきをあなたが止める屋のことデイドリームに降る雨のこと
あつ、雨と言う声なくば雨はなくゴーストタウンに降る雨のこと

ひとこと 今年も締めりました、ふんどの夏！

nukothecat

へりコプリオンに花束を

（お題提供…氷吹けい）

組み立て後、部品が余る、戸棚とか。未完成とは希望でもある
神さまも試行錯誤の最中でペルム紀ごろの生き物は変
まちがったかたちに組み立てられていた化石のほうが格好よかった
レントゲン（ケンタウルスや阿修羅とかヤマタノオロチ、キメラなんかの）
文明がついてえたあとでみなおなじ地層に深く綴じられるのね
おれもいつか発掘されてセンスない変なかたちに組み立てられる

ひとこと ペルム紀のことを調べて、楽しくて脱線しました。

沼尻つた子

春憂秋冬

（お題提供…深影コトハ）

四季の無い世界のように炎天の舗道へあなたの影が焼きつく
裸足より惨めにあなたは駆けてくる合皮の靴に指を撓めて
性欲は征服欲 汗その他に濡らした服を脱がずに終える
感情を差し置いたまま肉体は倒した車のシートを戻す
体温を追い抜いてゆく真昼間の空気を抱けばぜんぶあなただ
夏のなか心を挿して憂とする八月、あなたを得て失った

ひとこと 5月に「春憂秋冬」を聞くと、俳句を幾つか教えられました。

沼谷香澄

わたしだけの二度寝

（お題提供…えだまめ）

吾はいま死ぬかもしれずあかどきに吾が心臓を猫に踏まれて
まん丸く暗い目をして見る猫の声聞く時ぞ朝は悲しき
猫は走る夜来風雨の声はしているがこんなもの無くても走る
猫を飼う家庭に午前四時がくる病める日も二日酔いのときにも
言う事を聞いたら猫は味を占めると言う人いちど脅されてみな
餌が済んだ！語彙はいらない！一緒に！……二度寝最高！……寝るぞ再度！……！

ひとこと 猫のいる家といない家に住むすべての朝寝愛好家に幸いあれ。

ネコノカナエ

特殊恋愛技師A氏の日常

（お題提供…福山桃歌）

ご依頼をいただけるならどこへでも時間空間次元をこえて燃え上がる彼女の恋が見えるようわたしが土器を修復しますあの星が指環なんですお返事を乗せたロケット打ち上げましょう本当によろしいですか絵の中に入り込んだら戻れませんがお代なら真珠だけで結構です人間の足をさしあげましょうかささぎの寂しさをぼくは知っているホントはきみに会いに行きたい

ひとこと 特殊恋愛って？恋愛技師って？といういる妄想が楽しかったです。

ネネネ

二分三十秒の美学

（お題提供…金子りさ）

これは呪い あの日ふたりで抜け出した世界の海は枯れてしまった溶けていく夢だったから大丈夫あと2秒だけ指をつないで沈黙を破って鳴ったアラームを無言で止める ずるかったよね飲みかけの麦茶の光が反射して君のほくろが見えなくて あ、2分28秒でした思い出と記憶の隙間をつなぐ旋律行かないと振り返らないで去らないと泣かないように変顔をする

ひとこと 目をつもって二分三十秒当てるやつやりました。ひとりで。

禾口まる

フサコ98歳、職業／スナイパー

（お題提供…ともえ夕夏）

ドイツ製量産銃で撃ち抜けるのは人じゃなくそれまでの日々南側軒裏仰角十七度風船確認処理二移行スまた別のお茶の席で会いたかった握らせてやる幼子の笑み何処からと麦わら帽を深くする車体番号に気配 破裂の身じろぎもせず待つ時の擦り傷の塩もて染みる漬物のごとく235型特製銃よお別れだ冥土の土産に私を連れてけ

ひとこと ひと月かけてなんとも考える作業がとても楽しかったです。

のにし

首から下は

（お題提供…本条恵）

ピラミッド守るしなぞなぞ得意だしそろそろ社員になれると思う大発見自撮りする時目閉じたらワンチャン石化しない気がする「男ってやっぱり首から下だよね」ろくろつ首のパジャマパーティーもうすでに間取りも出口も分からないミノタウロス家庭訪問年始め今年の漢字を予言して死んでいった件の話せめて腰まで人間であつたならあなたを抱ける涙を拭ける

ひとこと 妖怪幻獣パレードになってしまいました…楽しかったです。

灰間ひの

マッコウクジラの憂鬱

（お題提供…木蓮）

るー、るー、と水の底からひびく歌マッコウクジラの歯は夜うずくわだつみの深さは肌へすがりつく狩をはなれて浮上するときこんなにもひもじいことはないだろう月のひかりで生きられたなら遠い日に地表を捨てた父祖の血かそらへ向かって満ちてゆくのはくじら座のみにミラは息づいてわたしはけものいいえげけものだいじようぶこれは鯨に続く水くぼませた手に涙を受ける

ひとこと マッコウクジラの頭の形が好きになりました。

橋本哲也

三月と四月の映画

（お題提供…土岐友浩）

桜咲く初めて歩くランドセル二人並んで通学路見上げたらチラチラ雪が舞うこともワクワクしていた頃は懐かし制服が少し大きく感じてた時がたつほど体になじんで卒業式いつも意地悪してたけど好きだと言いたい言えなかった携帯で逢えたらいいな繋がった想いは繋がりがまだ続いている桜舞う君に言おうプロポーズ二人の門出フィルムは回る

ひとこと やっぱり難しい、物語を書くような感覚で書いてみました。

薄荷。

おまえ、不治のらぶだな

（お題提供…水本まや）

日曜日世界は「らぶ」にあふれててわたしの「らぶ」は近くにあった目覚めたらあなたが横で眠ってておはようと髪をなでるしあわせくしゃくしゃのシャツに髪の毛くしゃくしゃの顔でおおきなあくびのあなた目に入るあなたのすべてが愛しくてついつい「らぶ」を叫んでしまうせーのって言わずに同じタイミングちょっぴりこげたトーストかじる「察するにおまえは不治のらぶですね」「そうねあなたもそうなんでしょう」

ひとこと らぶについて、ちょっぴり詳しくなれたと思います。

ハナゾウ

※写真はイメージです

（お題提供…スコラブ）

嘘をつくことが好きです嘘つきと責められるのはまだ苦手です表面の手触りだけを気にしてね（中身はこちらが詰め合わせます）まあ夏のバナナみたいなもんですよ熟れはじめたら終わりなんですとりあえず開封したらクレームは騙されちゃった自分にどうぞありのままホントの私を解つてと叫びつつ盛る自撮りアイコン「かたくなる前に食べてね」もう固い変なケーキをただ眺めてる

ひとこと 私の生き様！みたいなタイトルで楽しく詠めました。

はなめ

アロワナ番台

（お題提供…kan）

番台にいたじいちゃんが消えていてアロワナがいる水槽があるとりあえずお湯に浸かったふと下を見るとたくさんアロワナがいた銭湯で泳ぐ子供を懲らしめるための最終兵器アロワナ湯あがりの僕を見る目がイッているそうだ、アロワナは肉食だつ、た宇宙お湯アロワナ世界万華鏡じいちゃんリンス僕冷えた床目が覚めたじいちゃんがいた影一つ残さずアロワナは消えていた

ひとこと カオスなりとも楽しめました、ありがとうございました！

はね

磨りガラス製コンタクト

（お題提供…岬奈央）

磨りガラス製コンタクト。おはようをいうよりもまず世界、麻痺せよ。教室に放し飼いされてる僕ら。罪、罰、ひどく似かよって初夏。崩れゆく中庭。ひどくうるわしく誰かにたたまれゆくおじぎそう。屋上は君とのエデン。さびしいをさびしいとよぶ練習をしよう。上履きのかかとをふんで現世にとどまる君のかかとはきれい。見ないふりばかり上手だ。愛したいふりが苦手で大人になれない。

ひとこと 見るふり、見ないふり。美しいお題でした……楽しかったです。

柊木七生

妄想列車の車窓から

（お題提供…諏訪灯）

ぼく実は寝ても覚めても夢うつつ途中下車は遠慮願います劇場で流しますのはうら若き乙女とぼくのらららランドきららかにMovie舞わす花やしききみがパンダを跨ぐ初夏花火師の父に抱かれた命ならすぐに死ねたな、手のひらの線車窓から出逢えた人の面影をありがとうとごめん分けていくただたった三十秒で良いからさぼくの愛を聴いてくれよ なあ。

ひとこと 妄想ときくと何故でしょう前世の少年時代を思い出します。

東こころ

締め切りは守れ

（お題提供…谷口泰星）

あたらしい原稿用紙は青白く締め切り10時間前の朝きらきらの夏はいまだけ締め切りがやばいと言いつつ花火に誘う既婚者は諦めなよと友人の忠告締め切り3時間前インクから滲み出す声カレンダーどおりにかぬ恋と締め切りふるばけた演歌みたいなものでした締め切り2分前の告白この恋を原稿用紙に封印しあとは花火にして飛ばすだけ

ひとこと この人は結局締め切りに間に合ったのかどうなのか



氷吹けい

週末月下火山島

（お題提供…久保哲也）

めくるめく予定は縦にひびわれてホットスポットひそむ週末
ぼこぼこ噴き出す泡よ衝動のままにひとつの島になろうか
あたたかい 珊瑚ざわめく水面には温泉たまごのように満月
まだ花の咲く余裕なき火山島 夢はしらじらダチュラの記憶
日常化してゆけなくて月曜日 きつとわたしも帰ってしまふ
さようなら熔岩色のさかなたち砂になる頃また会いましょう

ひとこと マクマのような猛暑日にすてきな月下氷人と出逢えたみたいです

平出奔

あなたのフェアプレーポイント

（お題提供…藤原亜可里）

反則です「でかいうんこが出たよ」とか無邪気に笑うんじゃありません
ブーイング聞こえてますか？ 小用の後は便座を下ろしてください
そういえば嫌いでしたねプチトマト レッドカードのかわりに、どうぞ
大袈裟に痛がりますようろたえるあなたはけっこうかわいいですし
あなたのフェアプレーポイントはカンストしこれから先にはもう行けません
ゆるゆるとバス回しでもするようにくだらん話をずーっとしましょう

ひとこと タイトルに關係しそうなワードを捻り出すのが面白かったです！

笛地静恵

付度

（お題提供…小川窓子）

新月の犬猫病院夏風邪に順番を待つ犬神明
白玉にのどを鳴らせばかれの笑みあたしあなたの器でいいの
色褪せたカネゴン像のお口へと最後の十円いれる少年
少年のわたしへ声をかけてくれ地球売りますメフィラス星人
汗を拭く帽子をとった車掌さん銀河鉄道999
深夜二時。ラーメンの、具や、具や、なんじをいかにせん

ひとこと 「付度」は自分には過去のテーマ。まず取り上げない。難しい禅。

福山桃歌

パンチドランカーのヒエラルキー

（お題提供…ササキアンヨ）

この恋で死ねたらいいな 大の字でマットに沈む晩夏の告白
苦虫を嘔み潰すような君の顔食らえば食らうほどに陶酔
少しずつ縮めた距離を少しずつ離されて詰めあぐねる間合い
触れられる夢を見ながらああこれでもう独りでは歩けなくなる
笑いたきや飲み残されたサイダーを見ているだけのわたしを笑え
燃え尽きた恋に寄り添い絶えている痛む拳を突き上げたまま

ひとこと こんなにきついふんどしは初めてでした！

文車雨

青がピカピカ

（お題提供…やじこ）

永遠は溶ける恋愛相談のお礼の振りしたガリガリソーダ
「ここ重要！」と3度言われて書き付けた青色の付箋には世界の秘密を
手をつなぐ口実をください冷え切った大型水槽前の「あ、ジョーズ」
不可能の色はあおいろ セーのって跳ぶ オールスターはあなたの靴
あおはると笑うといいよ長方形に切り取られた水朽ちない桜
筆洗いに指を突っ込み量る空水彩絵の具に春は来ない

ひとこと ピカピカしてますでしょうか？素敵なお題ありがとうございました

藤原亜可里

鹿を数える

（お題提供…有村桔梗）

玄関にかざられている京焼の美しいこと空っぽなこと
クラウドに思い出を全て投げ込むが雨になって降ってはこない
ひまわりを植えるための穴なのにそのまま自分を埋めてしまった。
抱きしめて熱い皐月の心臓が友達にすらないいいきもの
君の手を掴み損ねたその指で角が折られた鹿を数える
啓蟄の幸せと丸の間から虫が這い出てきませんように

ひとこと 初参加させていただきました。楽しかったです！

伏屋なお

何度でもふんどす

（お題提供…泳二）

何度も落とされ作られ憤怒する 雀の母も我が母もまた
ワイパーが動かせなくて怒ってるフロントガラスの蛙可愛い
掃き出し窓をドスツと蹴って猫払う ベランダに居着かれぬようにと
ハエは百発百中討ち取った 今は飛び去った後の床打ち叩く
病得て何も出来ぬと憤るくつきり浮かぶ腕の血管
何度でも憤怒す母を陥れた病に老化に、すべての悪に

ひとこと ふんどすと検索してamazonの赤いふんどしが出たのは秘密。

ふらみらり

コティスエルト

（お題提供…尼崎武）

同窓会欠席してもシャツの裾かならず話題のコティスエルトよ
いつだってひょうひょうとして冷静でシャツの裾だけ触角のよう
制服の下からのぞくシャツの裾 顔より先に彼と認識
先生に注意されたらシャツの前入れて後ろで舌を出してた
英語だけ学年トップにあやかって英語の試験シャツ出してみる
就活でシャツ裾入れて歩いたら汗疹できたと巷のうわさ

ひとこと 会ったことないコティスエルトくん、愛着がわいてきました。

古井久茂

うさみサミット

（お題提供…あおきぼたん）

ドワーフのご協力にてジャックカロープの皆様もお越しくださり
前足をびたり揃えて草を食むロップイヤーの耳は灰色
穴を掘る上を跳び越え生け垣のあいだを走りホトは止まらず
おずおずと手のひらに乗るライオンの毛は真っ白でいつも正しい
コンサートライトの色が変わるたび僕らの影の色も変わって
日に焼けて埃まみれの衣装ケースにうさみみは入ったままに

ひとこと タイトルと歌の距離感を考え直す機会にもなり、楽しかったです。

穂崎円

おまるコレクター渡辺氏の最期

（お題提供…あひるだんさー）

蒐集はこころの小部屋 金色こ金色の小さき錠を掛けしこころの
表札は渡辺とのみ渡辺のなにがしなるか誰も知らざる
ヒトを人たらしむるのは何ならむ 排泄用具に埃は積もり
失踪と整理されたる人の家にモオツアルトよ高らかに鳴れ
幼児用ポータブルトイレと早口に読みて俯くテレビのひとよ
一斉にまぼろしの小児泣きだせばプラネタリウムに満天の星

ひとこと 掌編でも面白そうだなと思いつきながら作りました。

ぼるかどつとみずたま

水戸丸昌パーラー午後三時

（お題提供…鈴木智子）

午後三時制服のまま抜け出して彼女はそれをフクシユーと呼ぶ
ささやかな私たち ささやかでないパフェに許してもらいに行こう
足を組み替えて腕を組み替えて落ち着きのない人 聞いている？
文脈を無視したようにどこまでも続く青田にフルーツパーラー
五十円一律値上げから十年 少し老けたね あなたも店も
器からはみ出すほどに幸せを盛るのを仕事にしたかったです

ひとこと フルーツが苦手でこのお題どうしようってずっと悩んでました。

本条恵

アレイスター・クロウリーの幸福

（お題提供…桃生苑子）

二つ名の＜＜＜＜＜に導かれクロウリーはファンタジーエンをゆく
セレマの教義「汝の欲することなせ」それは宝のメダルメダルの銘でもあつて
クロウリーの垂れる講釈に耐えかねて死んだふりをするグラオーグラマーン
ぬばたまのクロウリーと魔女サイーデの攻防の百余頁は読み飛ばす
「さすらい山」登山隊を募るクロウリーの、でもこれはまた別の物語
宝のメダルメダルで全知全能になった今＜＜＜クロウリー、ねえ幸せですか

ひとこと もし『はてしない物語』の主人公がクロウリーだったら、って。

本田葵

こゆびの宇宙

（お題提供…阿部圭吾）

天の川カシオペアからネヴィラ星さわってごらん砂つぶだから
だとしてもアンドロメダの手前まで逃げてもそこはてのひらの中
こゆびからそつとあなたを覗いたら知らない星座だけで笑った
一度だけこゆびの宇宙旅行して道に迷ってスピカと出会う
伝説のこゆびの宇宙飛行士はスレイプニルに跨がっていた
コーヒーにミルク落として渦を巻くこゆび廻せば宇宙誕生

初参加どんなタイトルあたるのかドキドキして楽しかったよ。

茉城そう

探偵／六首からなる四部作

（お題提供…雀來豆）

赤塗りの地面にあなたは横たわり血溜まりへ伸びかけた指先
空が紫がかかる頃のアリバイが無さそうな人みなに指差す
焼香を終えてもずっと朝顔のうつるな青を思い出せない
犯人をいたぶる夢の挿入歌があなたの歌うグリーングリーン
黄信号やけに長くてあなたが遺したCON吸う 再度吸う
黒雨のはざま探偵になれないしなりたくなくてあなたを探す

最後まで「四部作」に苦しめられましたが、楽しかったです！

街田青々

逃げるなバナナパフェ

（お題提供…井筒ふみ）

遠くからだとおそらくは女子会だ妙な空気が漂っている
カチャカチャとフォークすべらし高らかにきみが食べてるフレンチフライ
知ってるよあそこの彼氏さっきのでココア五杯目だってゆうこと
ファミレスで仕事してるやつなんて絶対仕事できないやつでしょ
内容は分からないけどハッキリと逃げるなバナナパフェって聞こえた
デザートにでつかいかき氷を食べれば隣のファミリーの子供そわそわ

バナナのことを知りたくてバナナをたくさん食べた7月でした笑。

松尾唯花

蟹をひたすらひっくり返す

（お題提供…田中ましろ）

お土産の袋ひらけば初夏のやや柔らかい蟹ストラップ
たぶんこれサワガニですね 先輩のメールに並ぶいつもの絵文字
「このカニは二課の子」逆から読むために刑事の飼育しはじめたカニ
夕景に蟹って十回言ってみてマングースの敵がワニになる
夏といえば、カニ、なわけない 夕飯の冷やし中華に裂いたカニカマ
熱帯夜まぶたの奥の砂浜に蟹をひたすらひっくり返す

これを機にカニをスマートに食べられる大人になりたいです。

まつつ

ポルナレフはアイスクリームの中から生まれた

（お題提供…榛葉純）

濃厚なバナアイスであるべきでその形状は問われないまま
産婆の手は銀のスプーンゆっくりと傷つけないよう取り上げられる
だとしても夏に産まれたわけじゃなく その生い立ちにふれることなく
出自にはそれらしきもの諸説あり どうとうぶうましえりましえり
願わくばあなたもわたしも移民の子トリコロールの旗はなびいて
脚注にあなたの残した足跡が三行ほどに要約されて

ありがとうございました。苦手なアイスクリームも食べました^^

丸田洋渡

夏に吹雪く

（お題提供…古井久茂）

青色の夏に吹雪いて僕たちは点灯と消灯を繰り返す
声いつも向かうから来る 向日葵の翅のやうに雪まみれの葉
肌の上そつとひとさしゆびの辿り大樹あまねく枝を忘れる
海見たいと言ふと歩きつづけたら海に着くでしょ島だからと言ふ
君のいづれ入る棺に蓋の無いつばいに雪溢れる晩夏
ふいに笑ひだすと思へば泣き出して夕照雪をまつすぐ透ける

季節が壊れてしまっても、なんとか元気で居られるか心配です。

御糸さち

落下さん部隊

（お題提供…西村曜）

落下傘は落ちたらひらく花であり落ちないとひらけない花である
落下酸に侵蝕されてゆく像のアウトラインを確かめる夜半
落下山という名前の山がある多分かなしい伝説がある
落下散 散ると落ちるは同じだと知っていてなお皆おちてゆく
落下三：落下二：落下一：燦々とそそぐひかりのよう落下惨
落下さん部隊ひとりひとりの顔、声、夢だれもだれも知らない

落下しました！

深影コトハ

冷蔵庫に死体が入っています

（お題提供…ぼるかどつとみずたま）

いつの間に雨止んだでしょう夕焼けがもう最初からクライマックス
携帯がうんうんと二度鳴いて部屋の主の帰宅を告げる
ポストから覗く手首の先だけが欲しくて思わず掴んでしまう
清らかな部屋 清らかな花君の悦ぶ角度のおかえりなさい
花束の切断面にする処置を何度も何度も思い出している
この味が好きだと言ったから今日もビールと滋味を冷やしています

仕事用のノートに無意識に冷蔵庫 死体って書き込んでいました

岬奈央

ばいばいペテルギウス

（お題提供…高村七子）

ひとつぶの金平糖を舌にのせクレターのち超新星へ
うつせみの細胞あまた入れ替えていまも正しい息をしている
唐突にこと切れるペン 型番を讀んじながらむすぶ靴紐
咳をする 骨のあるのがよくわかる からだは熱を発しつづける
たましいにも速さはあつてのぞみにはたゆまず走ることのみを課す
またね地球またね星座をむすぶ日々ばいばいペテルギウス無き地よ

一目惚れたふんどしが届きました。ふんどしビギナズラック。

みずいろ

冥王星から、こんばんは

（お題提供…石勇斎朱吉）

わたしって宇宙人だよきみだって宇宙人でしょ星からみたら
すぎだった背中を見てる 重心がわからぬままでひとりで歩く
寝転んで星をみるとき少しだけ世界のことを好きになるよる
指一本で時間は戻るiPhoneのカメラロールを入り口として
この部屋の電気を消して光らせる 冥王星から、こんばんは
本当によかったのかと問われれば遠くを見つめることしかできぬ

わくわくしました！

水本まや

この花どうしよう

（お題提供…灰間ひの）

日々は泡胸へあなたを、水槽を、（いつかは咲く蓮を）眠らせる
まだつぼみ。そうであるべき水槽へ半透明ににぶい朝の陽
ふた匙の砂糖 これから悲しみを迎えるコーヒーに溶かし込む
朝食のパンは焦げてもいいですか ハツカネズミは笑ってますか
離れて、と言う間に肩を捕らわれてそれだからあなたを離せない
たとえば蓮が肺をやぶって死ぬ日まで、それまで花の名は伝えない

教養ポイント、上げときました。

満島せしん

歌人しかいない街

（お題提供…倉橋千帆）

「この街は、はじめてですか？そうですか」という上句で歌会始まる
この街の蟬たちはみな』と鳴いて夏はたましいの歌で溢れる
駅員の告げるアナウンスがひどい「理解できないひとは下がって」
会うひと会うひと方向音痴で行き先に辿り着かず吟行になる
初雪に氣付いたひとからへばりつき「ゆひら！」「ゆひら！」と曇り行く窓
缶チューハイ二本買ってるひとがいて、ああ、プロポーズの日かな、と思う

「歌人とは……？」と自問自答しながら詠みました。

皆川せつ

食べすぎの夏、胃痛

（お題提供…橋本哲也）

二〇一八年の夏 妄想の食べすぎにより胃痛、からの死
一本を食べ合いやがてキスをするやつがやりたいこの焼きそばで
ぐるぐるとふくらんでゆくわたあめは甘い甘い甘いあまい比喩
心などとづくに見透かされている君の白い右手に林檎飴
めちやくちゃにして欲しいのかキラキラとかき氷に虹色のシロップ
おちつけと言わんばかりに僕にだけ目立って見える素麺の黄が

ひとこと 食べまくりました。ごちそうさまでした。

南葦太

夏の放課後・いちごオレ

（お題提供…長月優）

シャトルランラスト三本からがヤマ また袖口で汗を拭って
カード麻雀、ジャンプサンマガ、部室とは汗臭い無垢な世界
部活後に松葉屋でいちごオレを買うこれがデカくて甘いから得
能天氣にベビースター喰ってやがる伸びた坊主の野球部くずれ
甘くなく酸っぱさはありしょっぱさはのあり余る帰りの道のオレ
黄昏の街を背にしてこの夏はまだ恋人に出会えない夏

ひとこと これが運動部の生き様じゃー！

宮嶋いつく

ぶんぶん、ハロー、宇宙バー

（お題提供…はなめ）

ゴキゲンなエキゾーストを響かせる（宇宙空間では聞こえない）
重力の足枷を振り捨ててゆく宇宙時代のイージーライダー
ハローハロー時計の針は気にするな宇宙時間はいつでも夜だ
可能性は無限にあるが人間はいつまでも居住区の中だ
もてあます金と時間と自我のためバーはいつでも扉を開く
なあ親爺、宇宙の果てにまで行けば自由とやらは見つかるのかな

ひとこと いただいたタイトルを、とりあえず二枚に下ろして料理しました。

宮本背水

美しきクリシエに背をむけて

（お題提供…雨虎俊寛）

淋しさが恋でしたと云ふひとがある ぼくらは淋しいひとだつたんだ
つまらない映画をふたりで見終はつて「つまらないね」と笑いあふ春
君と愛のはなしをしよう 檻の中のライオンがそつと吼えるみたいに
その鼻歌きれいだねとぼくが云ふと恥ずかしさうに鼻歌をやめないで
サイダーが夏の季語だといつかから知つてゐたよね さよならを言ふ
美しきクリシエにぼくらは背をむけて だれかの夢を見る日の淋しさ

ひとこと めっちゃ難しいふんどしでした！ 楽しかった！

村上航

ラッキーナンバーがない

（お題提供…ネネネ）

熱情を蹴散らすように夏が降る 濡れないために傘をさすのか？
かくれんぼするならいつも羽織つてたあの影はもう毛玉まみれだ
藍色の脇道にいる鹿たちはよるのうすさをよしとはしない
靴ひもを結び直してるそのずつとガシヤラホロロは君を見ている
新型の監視メダマに涙腺はないので全部記録できます
裏声のような夕焼けに勝てないしぼくにはラッキーナンバーがない

ひとこと ゆるやかな題詠を詠むみたいで楽しかったです。

木蓮

くちびるの赤きはてりは十七の

（お題提供…笛地静恵）

赤袈裟の地蔵にあなたの微笑みが重なりて消え揺るる陽炎
ふるさと呼ぶは西向き四畳半はしばみ色の丸い背のそば
記憶の全ては夏だった塩をふり西瓜を差し出す碧い静脈
その日 土気色の向日葵 つんぎくがごとく蒼天 鳴り響く電話
疾く疾くと心は走るリノリウム白い光を放ちて静か
くちびるの赤きはてりは十七の乙女のような祖母の死化粧

ひとこと 悩みながらも楽しい日々でした。お題ありがとうございました

桃生苑子

ねじと深呼吸のスパーク

（お題提供…千原こはぎ）

水滴はいくつも落ちて窓ガラスごしの世界を濁らせてゆく
深呼吸 大事なことを言ふまへにスカートの襷なおしてゐたり
ドアベルが鳴るたび彼処を見てしまふ来るはずのない人を探して
見えぬ砂の積もりてをるか空つぼのコーヒーカーップが指に重たい
きりきりと巻かれし螺子のほどかれて間のびして聞くカナリアの歌
スパークはわたしのなかに埋もれて外の世界はやけに眩しい

ひとこと 素敵なお題に振り回されながら作りました。楽しかったです。

森尾みづな

吟行強盗

（お題提供…沼尻つた子）

カルビーの工場勤務終へし君の髪の香こよひコンソメパンチ
セックスのあとの裸眼に氾濫の川の映像どこかのまちの
その一羽ナイフとなれり七月の空いつぱいの海鳥の羽
くぎスूप飲みたいといふ君のため旅人のふりして戸を叩く
金曜と土曜は霧の山荘に紙のお金を数ふる仕事
吟行ゆ戻れる僕の息はづみ奪ひきし山葡萄したたる

ひとこと 企画もお題もスリリングでした。

やじこ

回文である

（お題提供…御殿山みなみ）

下水から溢れた意味の洪水も逆さにすればやわらかな雨
サーカスに朝が手招きするように欲張る子にはバクの祈りを
家に着くまでが遠足だとしたら回文もまた遠足である
古ばけた言葉を床に落としたら欠けて命のかたちになった
廃れないタミヤの模型 渴いた胃 若いけもの屋みたいなレタス
そうなったそうなっちゃった言葉にもきみと世界が溶け出している

ひとこと ぼくにとつての回文って何だろうと考えるいい機会になりました。

悠

チヨベリバボーイ・チヨベリバガール

（お題提供…たえなかず）

この赤いハートのピアスお気に入りのにおととい床に落ちてチヨベリバ
これでも俺オムレッツ作り得意だＺ……殻入った、チヨベリバ
雨とかさーチヨベリバ 髪膨らむし洗濯物取り込むのウチだし
放課後にダチみんなして用事って！ねー俺ヒマー！！マジチヨベリバー！！
「お前さあ、いつもチヨベリバうるせーよ」「アンタもじゃん」「は？……チヨベリバ」
「ねーお腹すいたーチヨベリバ」「あの店のチヨコベリバー激ウマらしいよ」

ひとこと 難航しましたが、新鮮で面白かったです。

ゆき

ネバーランドのミッフィーちゃん

（お題提供…生田亜々子）

こここそはネバーランドの入口か銀の扉の光が痛い
とこわかの美容皮膚科の受付につるんどしろいミッフィーがゐて
つるつるの肌のうさぎに見つめられうっかり私のジェンガ崩れる
陶器肌艶肌桃肌ひやりと肌には出ない少女の感情
むなぐらを掴んで揺すりたき衝動ミッフィーミッフィー笑ひなさいな
永遠の少女ミッフィー告げにけり「キティさんほどわりきれなくて」

ひとこと ほのぼのするはずがあれ？楽しいお題ありがとうございました。

佳丘一穂

そんなエモみにほだされて

（お題提供…ゆき）

じつくりと炭火で焼いた手羽先とハツ三本で話をきこう
あふれだすぎりぎり手前のビール泡 口火を切るのは乾杯のあと
まだ少し緊張気味のふるえ声僕が相手だつていうのに
加速していく舌の先きらきらと氷はじけるイチゴチューハイ
君の眼にうつった僕と目が合つて揺れる自分に目配せをする
いいよって頷く代わりにメパフェを二つたのんで夜がはじまる

ひとこと これで合ってる？ふだん作らないようなお題で楽しかったです！



吉澤ゆう子

アメフランズラン

(お題提供…渡辺アレハンドロ)

雨降らん！フランスにあるひとからのLINEはこんな感じに始まる
フランスのラ・フランスは美味しいとスズランだつて売つとるんよ、と
雨降らず天の降るらんフランスの水辺に棲まふひとの眼に
仏蘭西で鈴蘭の日に鈴蘭を貰ふ意味など吾に訊くなかれ
ラン・ランのチャイコフスキー聴きながら夜は螺旋なり 雨降らんとす
天降らず雨の降るらんうつそみを離れてひとを恋ふ魂に

ひとこと どうしても、襷が締まった気がしません。落ち着きません…。

淀美佑子

ロストボールと清少納言

(お題提供…須磨堂)

バツイチで出世一途な先輩の呼べぬあだ名は清少納言
今月も清少納言したり顔 戦績揭示のホワイトボード
社内でのゴルフコンペにむきになる彼女の辞書に〈手抜き〉はなくて
力みすぎれば仇になりフェアウェイすました顔でそれてゆく球
草むらにかがみ思えば生き様もロストボールとベナルティっぽい
才女には力不足のぼくですが紛失球の代わり、どうです？

ひとこと おもしろいお題をいただき想像するのが楽しかったです！

龍翔

アレルギーで食えない

(お題提供…黒川鮪)

弁当のハンバーグにはケチャップがかけられていて夢が持てない
こんなんじゃ足りねえよなというぼくに君が齧れというメロンパン
好きなのに嫌いと嘘をつくことはあるけどアレルギーで食えない
味のついた水がうまいという君にぼくは無色を装っている
アナフィラキシーショックを起こす原因が君だとしても触れたい夏だ
購買のバナナモナカを分け合ってもうしばらくは友だちでいる

ひとこと 私はハウスダストアレルギーです。

若枝あらう

跳べ！トゲアリトゲナシトゲトゲ！

(お題提供…秋山生糸)

人は俺様を畏れてこう呼ぶぜ「シュレディンガーのトゲトゲ」だとな
ヤマアラシと同じジレンマかかえてることの必要性もジレンマ
陸に突きささったように動けずに空は高く胸をさすトゲ
ぶっちゃけさ、こんな姿で跳ぶのって、アリよりのナシ？ ナシよりのアリ？
気をつけろ！ 巻き込まれたら蜂の巣にならないとしても多分痛いぞ
パチンコで跳ぼうとしたらゴム切れてやっぱりぼくはトゲトゲだった

ひとこと 初参加、難しかったけど楽しかったです！コメディ振り切り。

綿菓子

これでおらもJKの仲間入り

(お題提供…谷村行海)

音のないテレビは温い 草色に泡だつていくレースカーテン
おべんどう箱ならやばい大きさに腕が振られてビデオ判定
手を打ち鳴らすリズム速まり国王の斬首のごときスローイン
オウムガイにひまわりを刺したような完全すぎるパスだ つながれ
いきなりですがPKは外しますと午前三時の川平慈英は
日韓の年に生まれた老犬よロシアの夏をよろよろ越えろ

ひとこと 川平慈英とジョン・カビラの見分け方、募集中です。

渡辺アレハンドロ

ある朝起きたら、利き手が逆になっていた

(お題提供…とわさき芽ぐみ)

物心ついた時から両利きの三谷に光の呪いをかける
丸いまま生を享けます丸いまま去っていきます(ダンゴムシかよ)
君と口約束交わしたその口で救命胴衣を膨らませてます
昼料金と夜料金を入れ換える恰幅の良い『愛の宮殿』の親父
腐るほど綺麗な女の人はいはる蟬には蟬の生き方がある
サッチャンはツブシが効くから歩行者用路側帯の上でよろける

ひとこと こつっあんでした。タイトルになつて左手で作歌しました。

編集後記

「歌人のふんどし」も3年目。

そろそろみんな飽きてるんじゃないかという懸念もありましたが、
軽くツイートしただけで161人も歌人さんたちが集合して
ふんどしを投げ合っていたいたのは本当にありがたい話だなと思いつつ編集してました。
知っている人とふんどし交換をした人、はじめましての人とふんどし交換をした人、
これを機にネット上での短歌の輪がより強固なものになればいいなと願っています。
ネット上の短歌界隈が元気なのは短歌界全体にとっても良いことのはず。
たまには僕の運営している「うたらば」にもご投稿、よろしく願いますー！（宣伝）

田中ましろ（企画・編集）

